

環境保全活動の目標と実績

荒川化学グループでは、ゼロエミッションを目指して、環境保全活動を進めています。

評価基準：◎目標以上達成 ○ほぼ目標通り達成 ×目標未達 ××目標大幅未達

重点テーマ	2007年度荒川化学グループの環境保全活動				2008年度目標	2012年度目標
	目標	実績	評価	関連頁		
環境マネジメントシステムの確立と維持	ISO 14001 認証取得 4 工場、ヘルノックス維持審査合格	ISO 14001 認証取得 4 工場、ヘルノックス更新・維持審査合格	○	P 8	ISO 14001 認証取得 4 工場、ヘルノックス維持審査合格、高圧化学エコアクション 21 取得	全事業所の環境マネジメントシステムの構築
環境会計の実施	環境保全コスト、物量効果を荒川化学グループで実施	環境保全コスト、物量効果を荒川化学グループで実施	○	P 13	環境保全コスト、物量効果を荒川化学グループで実施	環境会計の継続、環境経営へのアドバイス
省エネルギーの推進	エネルギー原単位：2006 年度比 1%削減	エネルギー原単位：2006 年度比 0.3%削減	×	P 15	エネルギー原単位：2007 年度比 1%削減	エネルギー原単位：2007 年度比 5%削減
CO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量：2004 年度比 3.4%削減	CO ₂ 排出量：2004 年度比 6.6%減少	◎	P 15	CO ₂ 排出量：2007 年度比 1%削減	CO ₂ 排出量：2007 年度比 5%削減
産業廃棄物の削減	排出量：2004 年度比 9%削減	排出量：2004 年度比 3.4%増加	××	P 16	—	—
	埋立量：2004 年度比 28.0%削減	埋立量：2004 年度比 9.0%削減	×		最終埋立率 [※] ：3%以下	最終埋立率 [※] ：1%以下
化学物質の適正管理	PRTR 対象物質の排出・移動量届出	排出・移動量届出	○	P 17	排出・移動量届出	排出・移動量届出
	PRTR 対象物質の排出量：2004 年度比 3%削減	PRTR 対象物質の排出量：2004 年度比 7.5%削減	○		PRTR 対象物質の排出量：2007 年度比 1%削減	PRTR 対象物質の排出量：2007 年度比 5%削減
	PRTR 対象物質の移動量：2004 年度比 3%削減	PRTR 対象物質の移動量：2004 年度比 26.6%削減	○		PRTR 対象物質の移動量：2007 年度比 1%削減	PRTR 対象物質の移動量：2007 年度比 5%削減
大気への環境負荷の削減	SO _x 排出量：2004 年度比 19.4%削減	SO _x 排出量：2004 年度比 31.0%削減	○	P 14	SO _x ：規制値遵守	同左
	NO _x 排出量：2004 年度比 10.0%削減	NO _x 排出量：2004 年度比 51.6%削減	○		NO _x ：規制値遵守	同左
水域への環境負荷の削減	COD 負荷量：2004 年度比 0.6%削減	COD 負荷量：2004 年度比 6.9%増加	×	P 14	COD：規制値遵守	同左
	SS 負荷量：2004 年度比 29.5%削減	SS 負荷量：2004 年度比 18.5%削減	×		SS：規制値遵守	同左
環境教育の実施	環境教育の実施	環境教育 791 時間実施	○	P 25	環境教育の実施	環境教育の充実
環境・社会報告書発行	2007 年 8 月に冊子発行	2007 年 8 月に冊子発行	○	—	2008 年 8 月に冊子発行	発行の継続、内容充実

※最終埋立率= (最終埋立量/発生量)×100 (%)

環境保全活動結果と目標

荒川化学グループでは、環境に与える負荷を削減するために環境保全活動計画を立て、目標達成に向けた取り組みを推進しました。その結果、2007 年度は CO₂ 排出量、PRTR 対象物質、大気への環境負荷では効果を上げました。省エネ、産業廃棄物、水域への環境負荷では不十分な結果でした。

新たに、2008 年度と 2012 年度の目標を設定するとともに、省エネ、CO₂ 排出量、PRTR については従前の目標設定をしました。大気、水域への環境負荷については、法規制値より十分小さいので、数値目標を取りやめました。また、産業廃棄物については最終埋立率を指標として、ゼロエミッションを目指します。

環境経営度の評価

日本経済新聞社は、毎年、企業の「環境経営度調査」の結果を発表しており、第 11 回目の調査は、2007 年 9 月に実施されました。その結果、荒川化学は回答があった製造業 520 社中 190 位の評価をいただきました。

なお、第 10 回の結果は製造業 542 社中 141 位でした。環境負荷削減の中期目標がないこと、再生可能な資源に関する質問がなくなったことが順位を下げた原因です。これらの結果を今後の環境活動に反映させていきます。